

## 1.7 兆円の社会課題に“朝食提案”で貢献

### 『朝食向上委員会（仮）』を発足

株式会社日本アクセス(所在地：東京都品川区、代表取締役社長 社長執行役員 CEO：服部真也、以下日本アクセス)は、食品総合卸の強みを生かし、朝食市場を盛り上げるべく『朝食向上委員会（仮）』※を立ち上げました。統一ロゴを使用した販促物の提供や売場提案等をとし、朝食の喫食シーンを想起させ、欠食率の改善を目指します。カテゴリや温度帯を問わない食材トータルのご提案を展開することで、製・配・販が一体となって社会課題に取り組む、消費機会の創出を図ります。

※今後さまざまな展開の可能性を秘めているという意味を込めて、名称はあえて（仮）としております



#### 朝食欠食は約 1.7 兆円規模の社会課題

朝食は日々の食事の栄養バランスや生活リズムに関係しているだけでなく、心の健康や学力にも関係があるとされています※1。しかし日本人の12.2%※2は朝食を食べておらず、その欠食分は年間でおよそ約1.7兆円※3におよび、これは大きな社会課題と言えます。そのような状況の中で、文部科学省が「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進したり、農林水産省が第4次食育推進基本計画に「朝食を欠食する国民を減らす」と具体的な数値目標を示すなど、国としても朝食の欠食率改善を目指しています。

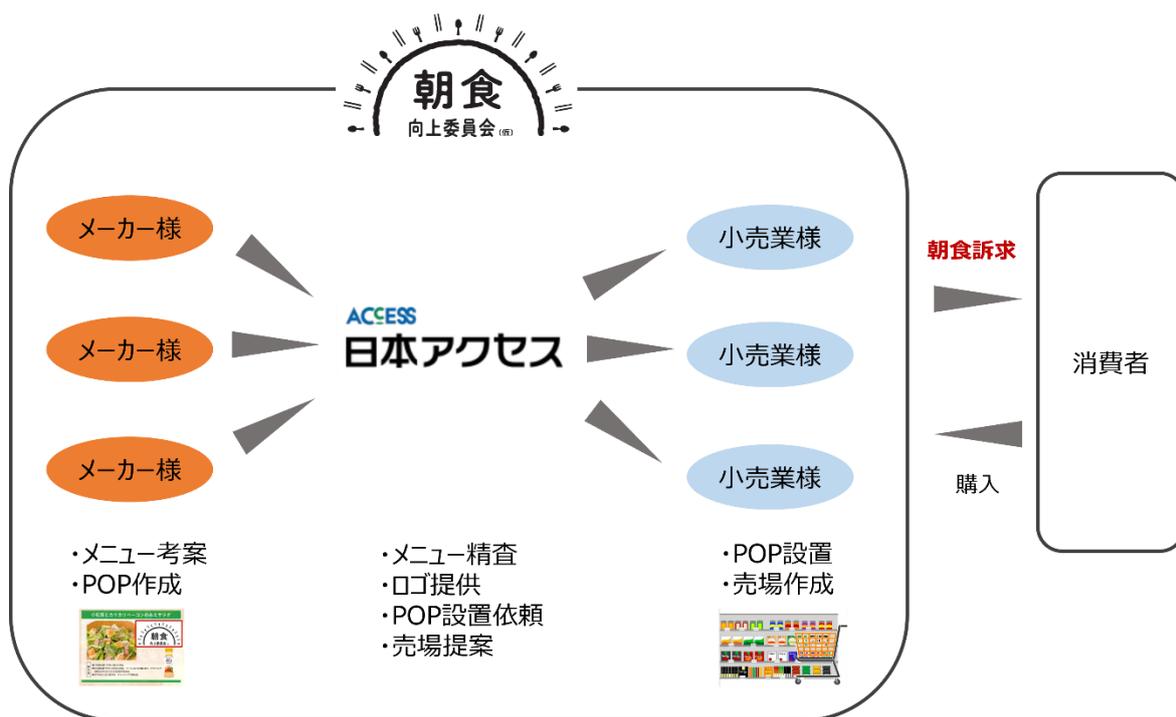
※1\_出典：農林水産省『「食育」ってどんないいことがあるの？～エビデンス（根拠）に基づいて分かったこと～（統合版）（令和元年10月）』

※2\_厚生労働省 令和元年『国民健康・栄養調査報告』参照 ※3\_1.24億人×365日×1食あたり300円で試算

## 朝食欠食率改善のためのプロジェクト

朝食向上委員会（仮）は、野菜・果物の摂取量拡大および適塩を意識した朝食欠食率改善プロジェクトです。各企業単独の提案ではなく、カテゴリや温度帯を問わない食材トータルのご提案を展開することで、メーカー様、小売業様と一体となって課題に取り組みます。「朝食」という一過性ではないテーマにおいて、継続的なご提案と消費機会の創出を図ってまいります。

### ■プロジェクトの全体イメージ



ご賛同メーカー様は順次拡大中（2024年7月時点：22社）

### ■最初のターゲットは朝食を「全く食べない」人

朝食を食べない理由は「お腹が空かない」という体調的なことに続き、「習慣・時間がない」「朝起きられない」「準備が面倒」などが多く挙げられます。※日本アクセス調べ（2024年6月）、調査協力：フリージー

時間がない現代人。しわ寄せは朝がもっとも顕著で、朝の時間を朝食に割かない、時短食事さえできていない人が多いことから、まずは朝食を「全く食べない」層をターゲットに、喫食機会の創出を図ります。次に「即食などで済ます」「簡便調理を行う」「週末はしっかりと調理を行う」とステップを踏みながら、ターゲットを明確化したご提案を展開していきます。

### ■今後の展開予定

小売業様のオウンドメディア等での朝食コンテンツの配信や、日本アクセスの情報卸を活用した取組み強化も実施予定です。

## ■日本アクセス秋季 Food Convention2024 ご提案例

### ▼TREND 予測



朝食市場の開拓をご提案

### ▼メニュー提案例



焼きおにぎり茶漬け

### ▼メーカー様ご提案例



キューピー株式会社様

### ▼メーカー様オリジナル販促物例



ネスレ日本株式会社様

## ■販促物



リーフPOP



スイングPOP



レールPOP

以上